



柏倉町のみやぎふれあいの郷付近から三夜沢町の赤城神社へと続く参道松並木は、約7,000株のヤマツツジと、約1,200本のアカマツ・クロマツに囲まれた約3.2kmの遊歩道です。ヤマツツジが開花する4月下旬から5月上旬には、マツの新緑とヤマツツジの燃えるような朱色の花が鮮やかなコントラストを描き出します。その美しさを堪能しながら参道を歩いてみませんか。

「美しい日本の歴史的風土準100選」にも選ばれたこの参道松並木は、慶長17年

# 前橋 ウォーカー ミミジの世界へようこそ



赤城神社  
参道松並木



みやぎふれあいの郷

面千本桜などがあり、参道散策のちよつとした寄り道も楽しみの1つ。散策後にはみやぎふれあいの郷で入浴してリフレッシュするのもおすすめです。

(1612年)に大前田村(現・大前田町)川東の彦兵衛がマツの苗木を太田(現・太田市)の金山から運び、赤城神社につながるようにして植えたのが始まりといわれています。

現在の参道は、自動車を気にすることなく、散策を楽しむことができます。歩き疲れたらベンチで休憩。程よい間隔でベンチが設置されていて、誰にも優しい遊歩道として整備されています。

周辺には、ぐんまフラワーパークや赤城高原牧場クロネンベルク、とんとん広場、そして、隠れたツツジの名所である赤城南

昭和62年から24年間、人権擁護委員として人権啓発や相談に携わっている平田さん。現在は、本市の人権擁護委員会の会長を務めている。

「相談者の話をじっくり聞き、気持ちを受け入れることを心掛けています。解決したときの笑顔を見るのが、一番うれしいですね」

毎年、小中学校を訪問し、人権啓発教室を開催。子どもたちに人権の大切さを伝えている。

「人権侵害のない社会にするためには、子どものころから人権意識を持つことが大切です。そのため、子どもたちの人権啓発には特に力を入れていきます。小学生には、手作りの紙芝居を使ってお話をするんですよ」

長年にわたる功績が認められ、平成13年に法務大臣表彰、19年に藍綬褒章を受章。人権擁護委員のほか民生委員も務めるなど多忙な毎日だ。

「人と話すことが大好きなんです。ささやかでも解決に向けた手助けができればと思います」

国内や海外などの旅行が趣味。また、友人たちとおしゃべりをするのが一番の気分転換。

「人権擁護委員は、ことしの9月で退任となりますが、これからも何らかの形で人権活動に関わっていきたいです。みんなが笑顔になれる、そんな世の中にしたいですね」

これからも優しい心で、人々に笑顔の花を咲かせてほしい。



24年間人権擁護委員に  
従事

平田 雅子さん 76歳  
表町一丁目



こんにちははごみ収集を開始

4月から「前橋市こんにちは収集」がスタートしました。これは、高齢などでごみ出しが困難な家庭を訪問し、ごみ収集と声掛けを行うもの。「こんにちは」は「元気な笑顔で職員が訪問します」



職場で役立つ技術を学ぶ

4月8日、前橋プラザ元気21で新入社員研修会を開催。市内の事業所に就職した新入社員など35人が参加しました。会社訪問や電話応対など実際の仕事を想定した演習を通して、社会人としての心得やコミュニケーション術などを学びました。



心地よい春風を感じて歩く

4月17日、上電沿線ハイキング「みやぎ千本桜の森」が開催されました。参加した約130人は、元気に上毛電鉄大胡駅を出発。赤城南面千本桜やコース上などで咲き誇る満開の桜を楽しみながら、上毛電鉄粕川駅までの約15kmの道を楽しみました。



安全な前橋産野菜を食卓に

4月17日、JA前橋市農産物直売所ゆうあい館でトップセールスを行いました。放射能汚染による農産物の風評被害が懸念される中、高木市長自ら採れたてのキュウリやホウレンソウなどをほお張り、前橋産野菜は安全安心であることをアピールしました。